

男子は城南 4年連続

県高校新人学校対抗

卓球の2018年度徳

の優勝を飾った。26校44
チームが出場した男子
は、城南が4年連続6度
目の栄冠に輝いた。

島市立が2年ぶり11度目

【男子】1回戦 脇町CC3-1
つぎA、鳴門B3-0新野 阿
南1 阿南光B3-1小松島B、
徳島商CC3-1鳴門C、脇町B3
-0阿波B、海部B3-2池田辻
B、脇町B3-2小松島A、阿南
吹つぎA3-0吉野川
3-2西西 鳴門B3-1吉野川
A、阿南1 阿南光B3-0富岡
東 徳島商CC3-2富岡西 脇町
B3-0城東A、板野3-1六
B3-0海部B、徳島
吹つぎA3-0海部B、徳島

[illegible]

昨年王者の徳島商との決勝でチームを勢いづけたのが第1シングルス年の1年・板東。相手のエース森影には昨夏対戦し惜敗していたが、気負いなく3―2と粘り勝ちした。「周りの声援もあって集中していた。焦らず落ち着いてレシーブでできたのが良かった」と勝因を語った。

3―0で優勝を決めたダブルスの寺本・秦組は連係が光った。寺本の巧みなサーブで相手レシーブを崩し、秦が強烈なスマッシュを打ち込む。寺本が「しっかり相手を見てコースを狙った」と振り返ると、秦も「競り合っても声を掛け合い、焦らずにプレーできた」と笑顔を見せた。

1週間前の選抜大会四国予選で全国切符を逃したばかり。郡主将を中心に「もう一度みんなで頑張ろう」と気持ちを切り替え、団結した。郡主将は夏の全国総体出場を目標に据え、「練習の質を高め、夢を果たしたい」と意欲を新たにしていた。

女子の徳島市立は1回戦から決勝まで4試合全てストレート勝ちし、2年ぶりの頂点に立った。

昨年王者の徳島商との決勝でチームを勢いづけたのが第1シングルス年の1年・板東。相手のエース森影には昨夏対戦し惜敗していたが、気負いなく3-2と粘り勝ちした。「周りの声援もあって集中していた。焦らず落ち着いてレシーブでできたのが良かった」と勝因を語った。

3-0で優勝を決めたダブルスの寺本・秦組は連係が光った。寺本の巧みなサーブで相手レシーブを崩し、秦が強烈なスマッシュを打ち込む。寺本が「しっかり相手を見てコースを狙った」と振り返ると、秦も「競り合っても声を掛け合い、焦らずにプレーできた」と笑顔を見せた。

1週間前の選抜大会四国予選で全国切符を逃したばかり。郡主将を中心に「もう一度みんなで頑張ろう」と気持ちを切り替え、団結した。郡主将は夏の全国総体出場を目標に据え、「練習の質を高め、夢を果たしたい」と意欲を新たにしていた。

女子決勝・徳島市立対徳島商 ダブルスでストレート勝ちし、優勝に貢献した徳島市立の寺本④・秦組②とくぎんトモニアリ①ナ(家段良匡撮影)

(平尾貴宏)